



平成 28 年 12 月 6 日

各 位

会 社 名 森下仁丹株式会社
代表者名 代表取締役社長 駒村 純一
(コード番号 4524 東証第 2 部)
問合せ先 常務執行役員 森田 真司
電話番号 06-6761-1131(代表)

CIN 治療ワクチン開発の権利に関する契約締結のお知らせ

森下仁丹株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:駒村純一)は、アンジェス MG 株式会社(本社:大阪府茨木市、代表取締役社長:山田英)より、同社の保有する日本、米国、中国及び英国における経口投与型子宮頸部前がん病変治療ワクチン(CIN 治療ワクチン)の独占的開発・製造・販売に関する権利に関するライセンス等の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本件について両社は平成 28 年 6 月 16 日に基本合意し、その後、契約締結に向けて協議を続けてきましたが、今回、契約内容で合意し締結に至りました。今回の契約で当社は、アンジェス MG が保有する CIN 治療ワクチンの権利全ての許諾を受けるのに加え、同社が保有する関連特許の権利の一部の譲渡を受けます。

当社は、この契約に基づき、外部の研究機関や企業などと広くアライアンスを組み、事業体制の構築を図ってまいります。

本ワクチンの開発は東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座 川名 敬 准教授(現 日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学分野主任教授)のグループにより医師主導臨床研究*1が開始されており、子宮頸部の前がん病変を退縮～消失させ、経口投与で子宮頸がんへの移行を回避できる世界初の治療ワクチンとして期待されている革新的かつ社会的ニーズも非常に高い医薬品です。当社が長年取り組んでいるプロバイオティクス(ビフィズス菌や乳酸菌など)研究や独自の製剤技術*2 のさらなる深耕にも資すると判断し、本契約の締結に至りました。

本件に関しては、新規事業分野における当社の将来の業績への貢献が期待されますが、本年度の業績への影響は軽微です。

*1 現在、世界で初めて東京大学医学部附属病院において医師主導臨床研究「HPV16 型 陽性の子宮頸部中等度上皮内腫瘍性病変(CIN2)に対する乳酸菌を利用した CIN 治療薬の探索的臨床研究」(プラセボ対照二重盲検比較試験)が実施されている。本試験の経費については、川名敬日本大学主任教授が獲得した厚生労働科学研究費補助金(医療技術実用化総合研究事業(臨床研究・治験 推進研究事業))が使用されている。

*2 当社のシームレスカプセル技術。カプセル構成成分の調整により、医薬品成分の活性維持や作用部位への運搬効率の向上などが期待できる。

(ご参考)

CIN 治療ワクチン

CIN 治療ワクチンは、子宮頸がんの原因ウイルスであるヒトパピローマウイルス (HPV) のたんぱく質に対する特異的な細胞性免疫を子宮頸部粘膜へ効率的に誘導します。これにより、子宮頸部の前がん病変を退縮～消失させ、経口投与で子宮頸がんへの移行回避の効果が期待されます。